

ふくしま

再生 短信

飯館村は広い。小宮の桜の季節は佐須よりひと月遅い。2022年5月3日と4日の両日マキバノハナヅノこと大久保金一農園を訪問。「再生の会」と協働して実現した2014年の植樹会（左下囲み記事）から8年、花友たちの夢が実現しま



した」と金一さん（写真1）。10歳でハナヅノづくりを始めて70年余、花友たち「しゅみの友」代表・飯塚直さん・麻子さんとの出会いから40年、東斜面には松月を始めとする見事な桜並木の景観（写真2）、邸宅前の南北にだけ



れ桜の並木道（写真3）。水仙の丘からは青空に映える桜が眩しい（写真4）。目を閉じて「マキバノハナヅノさくら祭り」を夢想

してみよう、8年前に希望を共有した人びとが再び集う笑顔を見よ。ここにひとり8年前102名の浄財を携えてしだれ桜を寄贈したそのひと、東京本郷の酔郷処「ちどり」ご主人・原島忠幸さんが満面の笑みをたたえて満開の「ちどり桜」と再会を果たした（写真5）。花仙人・金一さんも原島さんに千人の笑顔を見たに相違ない。（文責&撮影・若林一平）



マキバノハナヅノ

小宮の桜

2022

2014年
4月13・20日
桜の植樹に100名超
被災者の方々と私は絶望を共有することはできないけれど希望を共有することはできる。そういうことをいろいろな人に教えてもらいたと思うーマキバノハナヅノ植樹会参加学生（東大大学院農学生命科学研究所・溝口勝研究室）

